

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.362】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第9番ニ短調

演奏：ヘルベルト・ブロムシュテット指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55637>

2024年12月21日大ホールでの演奏です。



ブロムシュテットとアンスネスがモーツァルトのピアノ協奏曲で共演

ヘルベルト・ブロムシュテットは、ブルックナーを「ベートーヴェン以来の最も偉大な交響曲作家」とみなしています。ブルックナーの暗く輝く音楽語法に対する確実なセンスを持ち合わせているブロムシュテットは、ブルックナー指揮者の権威として世界的に認められており、今回のコンサートでは彼の最後の第9交響曲に取り組みます。前半にレイフ・オヴェ・アンスネスの独奏で演奏されるモーツァルトのピアノ協奏曲第20番は、おぼろげな雰囲気と決然とした劇的緊張感のある作品です。

以上の他に下記が演奏されました。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ピアノ協奏曲第20番ニ短調 K. 466

レイフ・オヴェ・アンスネス(ピアノ)

フレデリック・ショパン 前奏曲変イ長調 op. 28-17

レイフ・オヴェ・アンスネス(ピアノ)

ブルックナーの交響曲第9番は、今年はブルックナー生誕200年ということでブルックナーのプログラムが数多く演奏されてきましたが、今回の交響曲第9番もその一つです。100歳近いブロムシュテットが着席しての、魂のこもったブルックナーです。ブロムシュテットは、荘重な出だしから始まり、静かなエンディングまで、この大曲を目立ったアクションもなく、緻密に描いて行きます。



モーツァルトのピアノ協奏曲第 20 番はお馴染みの曲で、アンスネスが銜いなく淡々と、演奏していますが、この曲のもつ憂愁の趣をクリーンなピアノズムで表現しています。ショパンの前奏曲変イ長調はアンコール曲で、瞑想的な表情がクリーンに再現されます。



スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crstal Ep-G を接続した効果などで、ブルックナーとモーツァルトのそれぞれの表情を的確に捉えてくれます。

以上